



第76号
(発行所)
 真宗大谷派
松岡山廣讚寺
 中村区城屋敷町3-30
 TEL (052) 411-5301
 FAX (052) 411-5341
 携帯 090-1568-4623
<E-mail>
 matsuoaka@kosanji.or.jp

熱意をもって生きる

私は中日ドラゴンズのファンです、一応。勝ったり負けたり試合を一喜一憂しながらテレビで観戦しています。

中日ドラゴンズが優勝しても別にバーゲンに行くわけでもない。恩恵はありませんが、勝てば大いに喜び、翌日のスポーツ欄を何度も読み返し楽しみます。

負ければ悔しくなり対戦チームを憎みます。ファンも疲れます。

しかしここ数年は、中日が弱くなり、負け試合ばかりが目につくようになりました。そこで、負け試合を見て悔しい思いをしたくない。だったら試合を見なければいいと考え、テレビ観戦をやめました。ニュースや新聞で試合結果だけを見るようにしました。

それでも、中日が連敗しだしたりすると結果を見るだけでも腹がたつので、新聞でもプロ野球に関する記事を読むのをやめました。

しばらく見ないでいると、プロ野球の選手がわからなくなってきました。他球団の監督を誰がやっているのかも覚えていません。

そうすると、プロ野球に関心がなくなってくるわけです。

例えば今シーズンに中日が優勝してもそんなに感動しないとします。

関心がなくなるとこんなもんです。負けてもまったく悔しくありませんが、勝ってもさほど嬉しくない。変動はありません。

プロ野球応援を例に出しましたが、人生において、いろいろなことから関心をなくしていくことは、感動をなくすことです。

人生を達観したような気持ちになって何事にも熱くなれなくなったら、火葬場に行くまでの時間を待つているだけに過ぎないような気がします。

廣讚寺同朋会50周年

このたび廣讚寺同朋会は、真宗大谷派宗務総長より同朋会結成50周年記念として表彰されました。本山から賞状と、同朋会のちようちん、記念時計、同朋会の旗を賜りました。

思い起こせば昭和37年親鸞聖人七百回御遠忌法要を機に、念仏の友の会、すなわち同朋会運動が始まりました。本山・別院を中心に、念仏の教えを灯とし広く同心の人々が結集し、皆が本当の門徒となることを目指しました。

本山では同朋会運動の一環として同朋新聞を発行するようになりました。廣讚寺では、この同朋新聞を読む会として、昭和39年に60名で結成され、本山に同朋の会結成届けを提出しました。

その後、同朋新聞を読むだけの活動では物足りなくなってきました。しかしちようどそんなときに、名古屋教区20組で推進員養成講座が開催されることになりました。廣讚寺同朋会の中からも推進員を誕生させようということになり、昭和51年の推進員養成講座で廣讚寺同朋会から2名が推進員になりました。

その推進員を中心に同朋会運動を展開してきました。会員は現在60名です。行事は、毎月の例会、寺の行事に参加、納涼大会、寺院巡りを目的とした親睦旅行、除夜の鐘の接待、総会では演芸会もやっています。

現在、推進員は37名で名古屋教区20組の行事に積極的に参加しております。今後も真宗同朋会運動の推進に取り組みます。

2014年7月1日

廣讚寺同朋会推進員 伊藤和美

表彰状

名古屋教区

廣讚寺同朋会御中

貴同朋の会は宗門の至純なる願いを
 伝承しともに会員が宗祖親鸞聖人の
 真実の教法を聞信し御同朋御同行の
 交りをもって自信教入信の誠を尽くし
 今日まで精進努力されてきました
 このたび貴同朋の会結成五十年にあたり
 そのご尽力に対し心から敬意を表し
 記念品を贈り之を表彰するとともに
 今後とも真宗同朋会運動の推進に一層
 取り組まれますようお願い致します

二〇二四年五月一日

宗務総長 里雄 康音



真宗大谷派宗務所

家族

最近、月参りをしていて、お家の人と話していても
 つきり聞かなくなったのが、息子の嫁の悪口だ。

姑や亭主の悪口を聞くのは日常茶飯事だが、息子の
 嫁の悪口は本当に聞かなくなった。わずかではあるが
 逆に嫁を褒めたたえる人もいる。

嫁の悪口を言わなくてもよい社会になったのか、嫁
 の悪口が言えない世の中になったのか。嫁の地位が上
 がったのか。

孫の面倒をみているうちはいいが、やがては自分の
 面倒を看てもらわなければならないからか。

高齢化社会。歳をとると、だんだんと肩身がせまく
 なる社会になっていくのか。少子化問題を抱える日本
 「年寄りには邪魔者だ」という社会にならない事を願う。
 私のためにも。

行事予定

七月十二日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(土) 二時～四時 学習会

二十日(日) 五時半 納涼大会

(雨天決行)

◆◆ 納涼大会 ◆◆

人形劇・金魚すくい・
輪なげ・ビンゴ大会などなど…
楽しい催しものがいっぱい。
どなたでもご参加ください。

二十一日(月) 九時 後片付け

二十八日(月) 十時 二十八日講・女人講

八月九日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

十九日(火) 二時～四時 学習会

二十八日(木) 十時 二十八日講・女人講

7月20日(日) 午後5時30分～

納涼大会

